

乳房腫瘍手術を受ける方へ 患者氏名() 主治医() 担当看護師()

	1日前(月 日)	当日(月 日)		1日後(月 日)
		術前	術後	
達成目標	手術の必要性を理解し、手術の準備ができる。	精神的、身体的に安定した状態で手術に望むことができる	①全身状態が安定している ②創痛のコントロールが出来る ③出血がない	①全身状態が安定している ②創痛のコントロールが出来る ③出血がない ④退院後の注意点が理解できる
薬剤	持参薬がある方は看護師に渡してください。	朝、降圧剤や不整脈の薬は医師の指示で少量の水で内服して頂きます。	夕食後より鎮痛剤を内服していただきます。 痛みが続くようであれば鎮痛剤を追加しますので我慢せずお伝え下さい。	
注射		手術前から点滴を行います。	手術後点滴を2本行い、終了後針を抜きます。	
検査 処置			酸素・心電図・血圧計・フットポンプを装着します。	傷の状態を観察します。
安静度	制限はありません。	制限はありません。	手術直後はベット上ですが、状態が安定がすれば、歩行可能となります。	制限はありません。 出来るだけ歩くようにしましょう。
食事 水分	食事は夕食迄です。24時から絶飲食です。 (手術時間によって変更はあります)	絶飲食です。	腸の動きを確認後、飲水が可能です。夕食より食事が可能です。	食事に制限はありません。
留置物		点滴の針を留置します。	尿道カテーテルが入っています。	
看護	シャワー浴をしましょう。	手術の時間が遅い場合は午前中にシャワー浴が可能です	歩行が出来るようになれば尿道カテーテルを抜きます。	シャワー浴可能です。(退院後、外来受診までには入浴せず、シャワー浴にしてください。)
観察	手術に備え、血圧など全身の状態を観察します。	検温を行います。	検温を適宜行います。	
教育 説明	・手術の必要物品の確認をします <u>マニキュア・ジェルネイル・指輪等のアクセサリーは入院までに外して下さい。</u> 麻酔科医より麻酔の説明があります。 (祝日入院の方は事前に麻酔科受診があります)	眼鏡・腕時計・義歯・指輪など金属類は外して下さい。 手術室はパジャマで歩いて又は車椅子で行きます。 (ブラジャーは外して下さい)	痛みがある時など何かあれば看護師にお伝え下さい。 手術した乳房側の腕の運動に制限はありません。	・パンフレットを用いて退院後の注意事項を説明します。 (傷口のテープは次回の外来まで剥がさないでください。一部剥がれても触らないで下さい。) ・術後ブラジャーのワイヤーが傷口に強く当たらないように注意しましょう。 ・10時に退院予定です。 

個々の状態により変更する事がありますのでご了承下さい。なおご不明な点がありましたら遠慮なくスタッフにご相談下さい。

上記について説明を受けました 年 月 日 本人又は家人署名:

説明者署名:

三菱京都病院 乳腺外科 2022改

|